

～モノレールの定期券を地域電子マネー、ポイントカード、そして部屋の鍵にまで～
地域の中小交通機関や商店街でも導入可能な低コストで
安心安全便利にサービス間連携によるサービスの効率化、消費活性化を図る

- 地域共通プラットフォームを用いたICカード定期券「monoca」実証実験 -
「北九州モノレール交通連携タイムリーサービス実証実験」のお知らせ

概要

経済産業省の支援のもと、国立大学法人九州大学は北九州高速鉄道株式会社の協力を得て、九州大学が開発した交通実験用のICカード定期券「monoca」を利用した、沿線の商店、商店街、サービス事業者との連携サービス実証実験を平成20年1月15日より開始します。

本実験では、北九州高速鉄道株式会社が発行する定期券（シルバーパスなど）をICカード化し、九州大学が開発した低コストで安心安全に複数のサービスを1枚のICカードで提供する共通プラットフォームのしくみを使って、当該ICカードによる沿線の商店等での電子マネーやポイントのサービスと、これらと連動する消費者への情報提供サービスを実施します。この情報提供サービスにおいては、消費者の個人情報保護しつつ、サービス間連携によって消費者にとってよりお徳で便利な内容を追求するとともに、サービス事業者にとっては消費誘発に繋がる効果的な方法を模索します。

背景

平成15年度以降、九州大学においては、新キャンパス移転にあわせ業務の効率化と学生教職員へのサービス向上を目的として、九州大学発のID管理技術MIIID (Media Independent ID) *1を採用した全ての学内サービスに共通するICカードプラットフォームを学内に構築し、これを利用して様々なサービスを学生教職員に提供する計画が推進されてきました。

この計画は、サービスをより効果的なものとするため、平成16年度からは、学内のみならず学外も巻き込んだものへと発展しました。

さらに平成17年度からは技術の検証と導入に向けたビジネスモデル実証実験を経済産業省の支援のもと実施してきました。平成17年度は我が国のIT利活用に関する調査研究「情報家電等のネットワーク化技術の相互運用性及び有効性に関する実証実験事業」として技術の検証を、平成18年度は情報家電活用基盤整備事業「デジタルコミュニティ実証実験事業」として住宅入退室や交通機関利用、オフィスサービス、ショッピング等のビジネスモデル実証実験をそれぞれ実施してきました。

このビジネスモデル実証実験のなかでより効果的なサービスを実現するためには単独にサービスを提供するのではなく様々なサービスが情報を通じて連携してこそ、学生教職員を含む消費者にとってより効果的なサービスの提供が実現可能なこと、そしてサービスの効率化も可能になることが明らかになってきました。

サービス連携の仕組みとしてはSUICAを利用したPasmoやスルットKANSAI等の大手鉄道事業者を中心としたもの、そしてEdy等の電子マネー事業者を中心としたものが有名です。しかし一部大手企業のプラットフォームを共有することを前提とし競争事業者が多く参加するこれらの仕組みでは、情報連携にも制約があり、中小の商店やサービス事業者が使用しようとした場合、プラットフォームを保有する企業の意思で参加の可否が判断されてしまうこと、そして導入に大きなコストがかかることが大きな問題となります。またこれらプラットフォーム間の連携も経済合理性の基に行動する企業の意思により進められることになり、必ずしも中小商店やサービス事業者そして消費者の希望にそのような形になるとは限りません。

そこで九州大学では、地域経済活性化への貢献も考慮し、学生教職員を含む消費者にとってより効果的なサービスの提供のために、情報連携を含むサービス連携が容易な機能を含み、そしてその仕組みが普及するために、中小企業でも安心安全便利かつ簡単に低コストで利用でき、他の様々なプラットフォームを融合可能な共通プラットフォームと新しいサービスビジネスモデルを開発することを計画しました。

その開発のための実証実験事業が本事業です。

注)*1 M I I D管理システムはTypeA、TypeB、TypeCのICカード、フェリカ搭載お財布携帯電話等のメディアの違いを吸収し共存を可能とする、セキュアで柔軟な権利権限管理が可能なID管理技術

内 容

1．概要

今回の実証実験は、利用者にとって安心安全便利で簡単なサービス、事業者にとって安心安全便利で効率の良いサービスのあるべき姿を導き出すことを目的として実施します。

実験では、九州大学で過去開発した共通プラットフォームとICカードを用いた鉄道利用システム、ショッピングシステムをカスタマイズした情報連携を可能とするシステムと3モードのモノレール対応ICカードリーダーを開発します。その上で参加事業者を募集し、上記ICカードリーダーをモノレール各駅及び事業者の店舗に設置します。

これらの環境が整ったところで参加モニタを募集しICカードを配布、サービスを一定期間利用してもらい、システムの稼働状況や感想についての情報を収集し報告書としてまとめ、より効果的な共通プラットフォーム、新しいサービスビジネスモデルの開発に役立てます。

2．実験期間

2008年1月15日～2008年2月29日まで

実験の継続を検討中です。

3．利用するICカード

BタイプICカード

九州大学が開発した交通実験用のICカード定期券「monoca」*2

4．リーダー

3モードリーダー*3

5．募集モニタ

1) 募集数

500名

2) 対象者

以下の 優先で募集します。

北九州モノレールシルバーパス利用者

小倉～企救丘の定期券利用者

3) モニタの特典

- ・参加者全員に参加事業者の店舗で使える電子マネーを1人500円分程度提供します。
- ・電子マネーを使って参加事業者の店舗で買い物をすると割り増しポイント等の特典がつきます。
- ・参加店舗によってはお買い物時に特典をつけさせていただきます。

4) モニタ参加の条件

- ・お申し込みを頂き、申込用紙に必要事項を記入し北九州モノレールにご提出いただきます。
- ・お持ちのシルバーパス、定期券とICカード定期券を交換していただきます。

6．募集事業者

モニタへの商品販売ならびに広告配信を行う店舗

- ・20～30店舗*

モニタへの広告配信のみを希望する企業

- ・若干数

7. 事業体制

開発実験管理：九州大学

モニタ募集：北九州高速鉄道株式会社

事業者募集：株式会社北九州シティFM

実験協力：[モノレール] 北九州高速鉄道株式会社

[タクシー] タクシー第一交通

[ポイントシステム] 株式会社和多利

[広告配信] 株式会社北九州シティFM

[住宅サービス] 株式会社KESAKAシステム

[ショッピング] - 現在募集中 -

注) *1はmonorail community cardの略です

*2 3モードリーダはTypeA、TypeB、TypeCのICカード、フェリカ搭載お財布携帯電話のID情報が読めるリーダです。SUICAの情報も読むことが可能です。

記者発表会

場所：北九州市役所 4階 記者会見室

日時：平成19年 12月7日(金) 15:00~16:00

次第：

15:00~15:10 1. 挨拶

15:10~15:25 2. 事業概要説明

(九州大学システムLSI研究センターセンター長 教授 安浦寛人)

15:25~15:45 3. 事業内容説明

(九州大学システムLSI研究センター 准教授 石田浩二)

15:45~16:00 4. 質疑応答

monocaのデザイン、リーダの形状、確定しているショッピング参加事業者等は当日発表します。

九州大学e-Worldプロジェクト事務局

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1 工学部本館210号室

TEL:092-642-7325/7327 FAX:092-642-7078

サービス工学プロジェクト

プロジェクトマネージャー:システムLSI研究センター准教授

石田浩二(ishida@slrc.kyushu-u.ac.jp)

担当 :馬場尚美(naomi@csce.kyushu-u.ac.jp)

大矢敦子(ohya@c.csce.kyushu-u.ac.jp)

以上